

通信

NO. 163
2026年8月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目

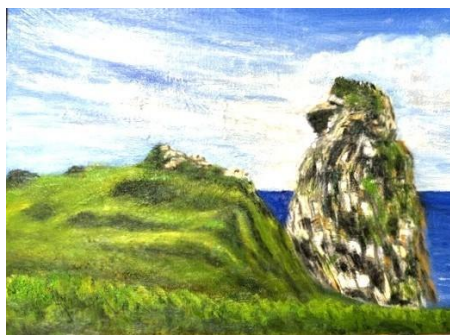
33番11-702号

☎092-982-5177

今月のスケッチ

猿岩

長崎県壱岐市



9月1日からのチャーチル会博多絵画展に出展する作品「猿岩」制作の途中。展示する作品の仕上がりはどうなっているのでしょうか。

スタ
コラ

還暦は折り返し「リスタート」

高尾 英正

今年、私は還暦を迎えました。

子どもの頃は、還暦＝60歳と聞けば「人生のゴールが近い人」というイメージを持っていましたが、いざ自分がその年齢になってみると、不思議なくらいそんな感覚はまったくなく、むしろ、「やりたいことがたくさんある」ってところです。

毎年年末にやりたいことをフセ

ンに書いているんですが2026年もA4用紙にフセンが溢れます（笑）。

そんななか人材育成の仕事に携わっている仕事柄、最近特に感じることがあります。それは、人は年齢ではなく「挑戦をやめた時」に老いるということ。還暦を迎えた今年も、相変わらずマラソンに挑戦し続けています。

目標の一つ「マラソン大会100回出場」は3月の静岡マラソンで達成しましたが（途中棄権は7回あり💦）、さらに今年になって「47都道府県走覇」と銘打って都道府県の大会にでることが新しく目標に加わりました。

20代や30代の頃に比べて体力は多少（笑）落ちた感ありますが、カラダと心のメンテナンスにも以前より時間をかけること、マラソンの知識をつけること、走ってきた経験を生かすことでこの目標もそのうち達成できると思います（たぶん70代中盤以降で）。

還暦を迎えて感じたことの一つが、人生は「何歳からでも挑戦できる」ということ。

人は環境が変わり、きっかけがあれば何歳からでも成長できます。私はその姿を何度も見てきました。だからこそ、自分自身も挑戦することを続けたいと思っています。

私は経営者としても、講師としても、ランナーとしても、「まだ挑戦している人」でありたいですね。

還暦とは、人生を振り返る節目であると同時に、これまで積み重ねてきた経験を社会へ還元し、新しい挑戦を始めるタイミングです。



これから先の人生で、あと何回マラソンを走れるかは神のみぞ知る、ですが、これまで同様、やりたいことを書いたフセン一つひとつを大事にしてやり遂げたら〇をつけていきます。

人生100年時代と言われる今、私は120歳まで生きる予定なのでちょうど折り返し。これからも、「元気があれば何でもできる」という言葉を胸に、仕事にも人生にも挑戦し続けたいと思います。

日常からの想い

チャーチル会博多絵画展

9月1日～13日

旧福岡県公会堂貴賓館

今回のチャーチル会博多絵画展は、「日常からの想い」です。

私もこの絵画展に出展する作品として、今年の7月に東京の孫と訪れた猿岩。現在、油絵（F4）として製作中です。

この作品は、あと数日、最後の仕上げをして出品する予定です。どんな絵になるのだろうと、ワクワクしています。

よろしかったら、お出かけください。お待ちしております。

Relationship & Partnership
ビジネス総研

<https://www.b-souken.com>